

## 7. ISO コラム 「え！そんな事知らなかった」

1. ISO規格は「変幻自在」に変わる？
2. 中国がISOを一番取っている！
3. 日本が環境ISO—14001では[世界一]
4. ISOは二人の会社でも取れる？
5. 両方(9001と14001)一緒に取るのが最近の主流？
6. PL法対策にもISOは有効
7. 管理責任者は外部委託できる？
8. 審査会社って、なぜ財団法人が多いの？
9. 審査員よりコンサルタントのほうが、レベルが上？
  
10. トヨタはISO14001を奨励している？
11. ISOのマニュアルは文字でなくてもよい？
12. JABは、外国ではあまり知られていない？
13. 審査費用に交通費は入っていない？
14. 審査員の変更は、出来るの？
15. ISOの「経営者」は誰でもいいの？
16. サービス業とISO、相性は？
17. 認定機関ってなあに？
18. 銀行借入にISOは有利？
19. 審査機関って変えられるの？
20. 内部監査の研修は毎年必要？

## 1. ISO規格は「変幻自在」に変化する？

5～6年で変わるISO規格は。各国の専門委員で検討され、改訂される。ISOが普及するのに応じて、規格をより実態に合った形で、内容を改訂している。中小企業が増える、小売・サービス業が増える、9001取得企業が14001を取る・・・といった流れが反映する。

## 2. 中国が一番ISOを取っている？

ここ1～2年の流れで、世界中で最もISOを取得しているのは、中国。何故だろう？世界の工場・製造業を目指す中国企業の従来のイメージは、「安いけど、品質が悪い？」というものだ。そこで、この国際規格を取得して、『イメージ』を変えようという、意図が見えてくる。

## 3. 日本は14001では世界一！

日本は、現在、環境ISO14001の分野で20,000組織以上で、世界一。如何に日本企業が、企業の社会的責任の具体的形として、環境問題を捉えているかが分かる。京都議定書の発祥国としても、意味がある。

## 4. 二人の会社でもISOは取れる！

ISOは、何人の組織から取れる？・・・素朴な疑問。答えは二人から。1人は？出来ない。自分で自分の仕事は、「内部監査」すると、どうなるか？・・・やはり出来ない。

## 5. 両方(9001と14001)取るのが最近の主流

今、ISOを取る企業の約50%近くが、このやり方。メリットがたくさんある。コストが割安。期間、手間も少なくて済む。審査も割安 等等。その背景には、9001を取って、3年後約40%の企業が14001にとりくむ・・・という傾向がある。

## 6. PL法対策にISOは有効！

製造業などで、PL保険に入っている企業が多いが、ISOの認証は、もし万が一の時は、有利になる。被害者からの訴訟の場面で、自社の製造プロセスを証拠として、出せる為。但し、自社に手落ちが無い場合。

## 7. 管理責任者は外部委託できる？

アウトソースの一つの形であり、可能です。中小企業でしかるべき人材が居ない場合や、退社した場合など考える余地のあるやり方。現場が忙しくて、とても手が回らない、という会社も一考すべきか？

## 8. 審査会社って、何故財団法人が多いの？

様々な業界団体が母体になって、審査会社をつくった。これは、日本だけの特色だと思われる。しかし、やや問題がある。審査の「公平性」「客観性」。今、その見直しも行われている。しかし、本当の問題は、「お役所的」な、感じがする部分だろう。

## 9. 審査員よりコンサルタントの方がレベルが上？

あまり知られていないことですが、一般には、審査員の方が、「格」が上とされている。分野が違うので、比較しにくいですが敢えて言うと、コンサルタントである。ISOの構築指導と審査を比べると、「仕事で要求される能力」としては、やはり、コンサルタントと思われる。

## 10. トヨタは14001を奨励している？

ご承知のように、「カンバン方式」や「ジャストインタイム」のマネジメント手法は、品質管理の分野で有名です。この為、ISO-9001への関心は低く、系列の企業には14001取得をすすめている。

## 11. ISOマニュアルは、「文字」でなくてもよい？

YES。ビデオでも、DVDでも、写真でも…OK。文字による「文書」でなくてもマニュアルとして通用する。外国人労働者のいる工場などは切実な問題だ。

## 12. JABは外国ではあまり知られていない？

JABやUKAS(英)という認定機関マークはよく見かける。ところが、JABは外国ではあまり知られていない。輸出企業がISOを取得する場合は用注意。RVA(蘭)なども海外では知名度は高い。

## 13. 審査費用に交通費は入っていない？

通常、審査会社の95%は、交通費は審査料に含まれていない。ごく稀に含む会社もあるが、通常はない。交通費の他に、「移動費」を請求するところもある。

移動費とは、審査員の移動時間にチャージするもの。

審査員が関西方面から来ると、新幹線代、と前泊費用が発生する。大手の審査会社は、こういうケースが多い。

## 14. 審査員の変更って、できるの？

できる。タイミングとしては、審査前と審査が終わり、次回の審査に向けて申し入れる事ができる。いづれも、「変更の理由」を言う必要がある。「ただ。なんとなく」では、まずい。

## 15. ISOで言う「経営者」とは、誰でもいいの？

小企業なら、社長だが、必ずしも社長でなければならないとは、決まっていない。「経営層」の中から選ぶことになっている。専務、常務、事業部長でもOK。経営をになう立場に有る人。

## 16. サービス業とISOの相性は？

悪くない。昨今、「人手を中心とする業種」にISOがどんどん取り入れられている。相性は、むしろいい。特に、パート、アルバイトの比率の高い業種は、適合する。

## 17. 認定機関って何？

審査会社を一定の基準で、「審査」し、認証する機関。しかし、認定をどこで受けるか、また受けないかは、審査会社の任意。審査会社成立の要件ではない。日本では、JAB【日本適合性認定協会】が認定機関として唯一あるが、外国の認定でも、効力は同一。UKAS, RVAなどが著名。

## 18. 銀行借入にISOは有利？

一般的に有利になる。少なくとも、その企業の社会的「評価」として、国際規格の認証は、融資の面でも、評価(プラス)される。もし、具体的なことが知りたければ、直接確認すること。9001, 14001とも社会的認知度は高い。

## 19. 審査機関って変えられるの？

いつでも、変えられる。FAX1枚でOK。維持審査の期間中でも、問題ない。ただし、認証審査の時に、どんな契約になっているか要確認。

## 20. 内部監査員の研修は、毎年必要か？

こたえは、その会社の内部監査の運用状況による。マンネリ化していて、監査で何の問題提起もなく過ぎている場合は、改善目標の設定か、監査の仕方に問題がある。こういう場合、定期的に専門家の指導を受ける必要がある。

「ISOコラム」いかがでしたか？ こんな事知らなかった？ でもここで述べたのは、ほ

んの入り口です。そこで、もっと知りたい勉強熱心なあなたには、  
このISOコラム「ダウンロード欄」の下の

「ISOへの26の質問」「ISO取得物語」をクリックして、メールアドレスを登録  
すると、これらの内容がすぐ見られ、なおかつ

全35ページの無料メールマガジン「ISO原人の独り言」が送られます。  
業界通しか知らない「インサイドノウハウ」が分りやすく知る事ができます！

ご期待！